

第3学年「てつがく」学習指導案

授業者 草野 健

2月22日（金） 2階プレイルーム 9:00～9:40

1 題材名（単元名） 毎日の生活から考える お金

2 考える価値内容 自己／他者

3 単元について

小学校3年生でてつがくの学習を始めた子どもたちの様子を見てみると、「もしも」の話が大好きな子どもが多いようである。これまでは、「もしもロボットに命があったなら」や「もしも病気がなかったら」などのてつがく対話を行った。そのような中で、「もしも」の話でしてみたいことの中に「もしもみんながお金持ちだったら」と「もしも1秒働いて10億円もらえたら」という発言があった。そこで、お正月明けでお年玉をもらう機会があったと思われる時期に、お金について話し合ってみることにした。

「もしも」の話は、空想の話であり、現実とかけ離れてしまうことが多い。それは、子どもたちは現実のことについての理解がまだ十分ではないためであると思われる。そこで、現実のことについて子どもと教師とで調べることから始めるようにする。そして、現実と自分の考えをポスターに表出させてからてつがく対話を行うようにする。

〈2内容－(1)ア、(2)イ〉

4 学習指導計画（5時間目／全7時間）

ヤンキースの田中選手は1球いくら？ 世界一のお金持ちは1秒いくら稼ぐ？

お金ポスター作り	…1時間
子どもそれぞれのお金についての考えを交流させる	…1時間
お金についての考えを分類してみる	…1時間
分類してわかることを基に話し合う	…1時間
「もしも1秒働いて〇〇円もらえたら」	…2時間（本時）
単元で考えたことを個人で振り返る	…1時間

5 本時について

（1）本時のねらい

これまでの話し合いから考えてきたことを基にして、自分の考えを表出させることができる。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 「もしも1秒働いて〇〇円もらえたら」について考えてみる。	○個人で考える時間を設定する。
2 サークルを作り、てつがく対話を行う。	○質問や考えを交換する際は、教師が抽象と具体が行き交うような声掛けを行う。
3 てつがく対話を振り返り、自分の考えの変化や興味深い発言についてノートに書く。	○振り返りの視点を提示するようにする。